



コンセプトチャルスキル/1日研修

Revised

管理職のための ロジカルシンキング研修

論理矛盾なく確実な業務フローを
構築する

▶ 本研修の概要とねらい

ロジカルシンキングの方法を学ぶとともに、具体的な事例を検証検討しながら、ロールプレイによって、行政機関に特化して実務に即座に活用できる内容を目標とする。

▶ 主なコンテンツ

ロジカルシンキングとは何か、ロジカルシンキングの基本、フレームワーク、事業案策定 など(詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)。

▶ 演習/実習の内容

- ・事例検証
- ・ロールプレイング

▶ 受講対象(推奨)

管理監督者

▶ 講師からの一言

気分や雰囲気、根拠や裏づけのない判断や業務処理、そして、担当者が個人の仕事のやり方で事務処理をしている現実。この状況が、残念ながら、行政組織内に蔓延し、業務改善も、異動もままならないような業務環境になっている組織も多くなっています。

論理的、合理的に業務や処理を検討し、常に最適化を考えるためには、ロジカルシンキングの力は、全職員に必要です。また、今後急速に進むRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)に対応するためにも、このスキルは、確実に体得しておく必要があります。

この研修では、課題提示の上で、ロールプレイを繰り返し、難しい事柄を、面白く、楽しく、かつ、仕事の検討にすぐに使えることを目標にしています。



一般社団法人 日本経営協会講師
関山 祐介(せきやま ゆうすけ)

早稲田大学システム科学研究所 システム分析・早稲田大学 ECWU MBA エッセンシャルコース修了。2002年 社団法人日本経営協会経営研究センター自治体経営研究所課長を務める。総務庁 行政評価・行政手続法プロジェクト推進業務を担当。現在、一般社団法人日本経営協会 チーフ・コンサルタントとして活動。その後独立し現在に至る。

全能連認定経営コンサルタント。

産業広報センター地域政策研究所研究員

沖縄大学地域研究所研究員

厚生労働省認定 日通連 経営管理1級インストラクター

本講師の他の研修

- タイムマネジメント
- モチベーションアップ
- わかりやすい資料作成

管理職のためのロジカルシンキング研修

1日研修タイムテーブル案

研修テーマ	主なコンテンツ
1. ロジカルシンキングとは何か (1) 小演習 (2) ロジカルとは何か。 (3) ロジカルに不可欠な要素。 (4) ロジカルシンキングの実際	☞ 代表的なテーマについて、論理的に解説しあう。
2. ロジカルシンキングの基本 (1) 図示化 (2) 分類分析 (3) 問題の抽出と全体フローの検証 (4) システムツリー構造。 (5) 自己の主張ではなく、根拠から考える。 (6) プロセス化する。 (7) 演繹法と帰納法演繹法とは 各々の特色と活用方法 (8) 推論	☞ 本質的命題と目標は何か? 目指すべき到達点は何か? 現時点の障害は何か? 想定されるリスクは何か? どのようなストーリー(フレームワーク)が必要か? ☞ Why⇔because ・ ~ing⇔thenの相関をつなげてロジックストーリーを作る。
3. フレームワーク	☞ 仮説設定 演繹法ならびに帰納法により仮説を構築する。仮説を検証してみる。
4. 事業案を策定してみる	☞ 具体的に、行政事例(判例事例等)を検証してみる。行政の成功事例を分析してみる。
5. まとめ 総括	

■本研修を受講した研修生の感想

☞ ロジカルシンキングというと、若手職員が学ぶイメージを持っていたが、組織構造を維持するためにも管理監督職が改めて学びなおすことの大切さがよくわかりました。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

☞ ロジカルシンキングの基本から、実際に事業案を作成する際にどのように活用していけばいいのかまで1日で学べるプログラムです。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>